

## 南区の読書活動の推進について

### 目標1 本をもっと身近に感じられるよう、区民と施設のつながりを深めます。

区内には図書設備を整えた施設が数多くありますが、まだまだ区民の皆様には知られていないのが現状です。区民の皆様は施設を知っていただき、身近に感じ、利用していただけるよう連携して取り組みます。

#### 主な事業

##### ◆図書館見学会

読書活動の中心を担う図書館をより知っていただくため、図書館見学会を実施します。

##### ◆おすすめ本の紹介

区内の様々な人からおすすめ本を紹介してもらい、区民が本を選びやすい環境を作ります。

##### ◆各施設が連携した広報活動

区内の各施設をより身近に感じ利用していただけるよう、連携して広報活動に取り組みます。



### 目標2 乳幼児から大人まで、幅広い世代の区民が本に触れる機会を提供していきます。

大人になっても読書に親しむためには、幼少期からの習慣付けが必要です。そして、子どもが本に親しむためには、保護者を含めたまわりの大人が本に親しむことが大切です。

南区では幅広い世代、様々な文化的背景をお持ちの方に本に触れていただくための機会を提供していきます。

#### 主な事業

##### ◆読書活動推進連絡会の開催

区役所・図書館・学校による連絡会を設置し、情報共有を図るなど連携した取り組みを行います。

##### ◆ボランティアの紹介

区内で活動している読書関連ボランティアを知っていただくため、展示会などを開催します。

##### ◆乳幼児健診を活用した取り組み **乳幼児**

健診などで区役所を訪れた親子に読み聞かせを行い、大人も子どもも本に触れる機会を提供します。

##### ◆夜間学級の図書設置 **学校**

横浜市内唯一の夜間学級である蒔田中学校夜間学級に図書を設置し、生徒が本に触れる機会を提供します。

##### ◆市民の課題解決支援講座 **大人**

健康や医療、法律、就労、資産運用など、市民の日々の課題に応える図書展示や講座を行います。

##### ◆外国語を母語とする区民に向けた読書の取り組み **多文化**

図書館の外国語資料コーナーをはじめ、多言語書籍を充実させ、様々な言語の読書に親しめる環境を整えます。

## 目標策定の経緯

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が平成25年6月に制定され、平成26年4月1日に施行されました。横浜市では、子どもから大人まで広く市民の読書活動を支えるための環境を整え、読書活動を推進するため平成26年3月に「横浜市民読書活動推進計画」を策定しました。

南区においても、この横浜市民読書活動推進計画に基づき、南区民読書活動推進目標を策定しました。

#### ～「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」の概要～

- 市民の読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民一人一人の心豊かな生活及び活力ある社会の実現に資することを目的として、議員提案により制定されました。
- 市の責務として、市民の読書活動の推進に関する施策を策定し、実施します。また、施策の実施にあたっては、区の地域性に応じて、読書活動の推進を図るための目標を定めます。
- 読書活動に関する市民の関心及び理解を深め、読書活動の推進のために、毎月23日を市民の読書の日とし、毎年11月を市民の読書活動推進月間とします。

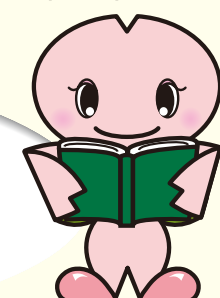
#### ～「横浜市民読書活動推進計画」の基本的な考え方～

教育委員会は、「横浜市民読書活動推進計画」を策定し、全市的な広報活動や民間事業者と協力を働きかけるとともに、区が読書活動を推進していくための基盤をつくりま

す。区役所・図書館・学校は、連携して区の地域性に応じた読書活動の目標を策定し、地区センターなどの地域の様々な市民利用施設のほか、読み聞かせなどの読書活動団体をはじめとした様々な地域団体や民間事業者等と協働し、地域全体で読書活動を推進することにより、より多くの人が読書に親しみ、読書を楽しむことができるよう取組を進めます。

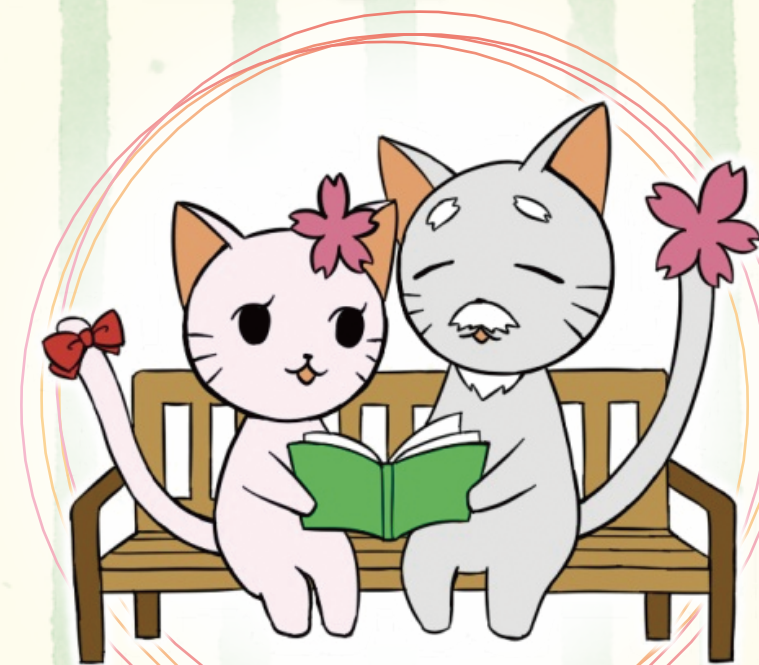
(横浜市民読書活動推進計画[概要]より抜粋)

毎月**23日**は市民の読書の日  
毎年**11月**は市民の読書活動推進月間



南区 Mascot キャラクター「みなっち」

# 南区民読書活動 推進目標



南図書館 Mascot キャラクター「くみよにゃん」「くみよじい」  
※制作 横浜国際高校エンターテインメント部

本は、人に生きていく活力を与え、人の心を豊かにします。  
私たちが生きていくうえで必要とする教養や表現力を高め、想像力の翼を広げてくれます。  
読書活動は、子どもから大人まで全ての人々が共通して親しみ、交流を深めることのできる大変貴重なものです。  
区民の皆様との交流がより一層深まり、南区に「あったかい風」を吹きわたるようするため、地域の方々や様々な施設と協働しながら読書活動を推進していきます。

# 南区の読書活動の現状

## 1 南図書館

南図書館では、約 11 万冊の蔵書が常時閲覧可能となっているほか、ネットワークにより市内の図書館の約 400 万冊の蔵書を取り寄せることが可能となっています。

また、読書活動の推進に向け、おはなし会や展示会を開催しています。

図書館実績（平成 25 年度）	
蔵書数（図書資料）	114,337 冊
貸出冊数	353,057 冊
学校向け貸出（学校連携）	53 件 / 1,269 冊
グループ貸出	21 団体 / 1,614 冊
ボランティア連携事業	40 件

### 図書館サービス

#### ◆個人貸出

登録をすると、1 人 6 冊までを 2 週間借りることができます。

全ての市立図書館で借りることができ、どこの市立図書館でも返せます。

#### ◆グループ貸出

横浜市内で読書に関する活動をしている、会員 5 人以上のグループに対してまとめて貸出を行っています。登録した図書館で 30 冊までを 30 日間借りることができます。

### 南図書館の事業

#### ◆おはなし会

南図書館、南区福祉保健センター 4 か月健診、区内保育園などで、おはなし会があります。

読んでもらう楽しさを、子どもが経験できます。

#### ◆夏休み図書館たんけん隊

図書館の仕事を体験し、本の探し方、調べ方がわかるようになります。

#### ◆大人のための図書館バックヤードツアー

普段は非公開の中もご案内し、図書館資料の検索のコツや、本の配列順などをお教えします。

図書館をフル活用できるようになります。

#### ◆南区から世界が見える！おはなし会

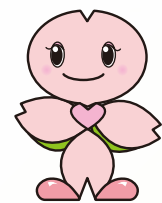
南区にある多様な文化を、本、文字、遊びなどを通じて学び、知ることができます。

#### ◆南図書館だより「来ぶらり」（広報よこはま南区版連載）

毎月、おとな向きの本 1 冊、子どもの本 1 冊を紹介しています。

紹介した本は、図書館で借りられるようになっています。

図書館では  
貸出以外にも様々な  
事業を行っています。  
(一例)



## 2 市立小中学校

各学校には、学校図書館が整備され、児童生徒の読書や調べ学習などの場として利用されています。

また、平成 28 年度までに全校に学校司書（※）を配置する方針です。

※学校司書（学校図書館担当職員）：専ら学校図書館の運営に関する業務を担当する職員。司書教諭を補佐し、学校図書館を活用した授業への支援を行うとともに、学校図書館の蔵書管理や本の貸出などを行い、児童生徒が親しみやすい学校図書館づくりを支援する。

### 学校の主な取り組み

#### ◆校内一斉読書活動

区内の全ての小学校が校内一斉読書活動に取り組んでいます。

校内一斉読書活動では、始業前に全児童が読書に励む時間を取り入れるなど、各学校が独自の活動により読書活動を推進しています。

#### ◆「はまっこ読書ノート」の配付

全ての児童に「はまっこ読書ノート」を配付し、児童が読書に親しみやすい環境を整備しています。はまっこ読書ノートには「図書リストのページ」と「読書記録のページ」があり、本の紹介や読んだ本の記録、自分のおすすめの本を記入することができますようになっています。

児童が主体的に読書に親しめるように作られており、身近な手引きとして活用されています。

#### ◆「はまっこ読書の日」の取り組み

横浜市教育委員会では、11月の第1金曜日を「はまっこ読書の日」とし、全市立学校で読書活動の推進に取り組んでいます。区内の中学校では「はまっこ読書の日」に合わせ、校内一斉読書活動や自分で読んだ本の中から全生徒に本を紹介する活動など、各学校が独自の取り組みを行っています。

#### ◆地域との連携

ほとんどの小学校で、地域ボランティアの方が学校図書館の環境整備や子どもたちへの読み聞かせを行うなど、地域と連携した活動に取り組んでいます。

#### ◆図書館との連携

図書館と連携し、図書館の見学や教職員向けの貸出を行っています。

## 3 市立保育園

各保育園が多くの図書を保有し、園児への読み聞かせなどを行っています。

各保育園独自の活動 ※全ての保育園で実施しているものではありません。

#### ◆地域との連携

地域ボランティアとの協働による読み聞かせの実施や、通園児だけでなく地域の親子も対象としたおはなし会を開催しています。

また、地域の方や施設へ保育園所有図書の貸出を行っている保育園もあります。（事前登録制）

#### ◆施設との連携

図書館や地区センターなど、施設の図書を利用した読み聞かせを行っています。

## 4 地域ボランティア

南区には多くのボランティア団体があり、図書館や学校、保育園、施設などと協働して、読み聞かせや図書修繕などを行っています。

### 地域ボランティアの主な活動

#### ◆読み聞かせ活動

学校の始業前や授業中の読み聞かせ活動を行うほか、保育園や施設でのおはなし会を協働して実施しています。

#### ◆環境整備

おすすめ本の紹介や、学校や図書館の破損した図書の修復など、読書活動の環境整備を行っています。また、ボランティアの方々の活動を紹介する展示会も開催されています。

## 5 区民利用施設

南区には図書館の他にも地区センターやコミュニティハウスなど、図書の設備を整えた施設があります。施設においては、子育て世代向けのお話し会や地域ボランティアの方と協働で事業を実施するなど自主的な読書活動が行われています。

また、図書の設備のある施設の中には「貸出」を行っている施設も数多くあります。

### 図書の貸出を行っている施設

施設名	蔵書数	施設名	蔵書数
南センター	約 10,000 冊	南太田小学校 市民図書室	約 4,000 冊
大岡地区センター	約 10,000 冊	蒔田小学校 市民図書室	約 3,500 冊
永田地区センター	約 12,000 冊	六つ川小学校 市民図書室	約 2,500 冊
中村地区センター	約 8,500 冊	六つ川西小学校 市民図書室	約 6,000 冊
睦コミュニティハウス	約 32,000 冊	中村地域ケアプラザ	約 250 冊
浦舟コミュニティハウス	約 2,000 冊	男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）	約 3,000 冊
六つ川台コミュニティハウス 市民図書室	約 6,500 冊	横浜青年館	約 200 冊
永田台コミュニティハウス 市民図書室	約 6,000 冊	南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹	約 3,000 冊

## 市民図書室

学校開放事業の一環として、地域住民の文化活動の振興を図るとともに、青少年の健全育成と地域社会の発展に寄与することを目的とし、学校開放を管理運営する文化・スポーツクラブが、横浜市から業務を委託され実施しています。

◆学区内又は近隣地区に在住、在勤の方が利用できます。

◆日曜日を含めた週 2 日を開放日とし、開放時間は 1 日 2 時間程度です。

（開放日・開放時間は各市民図書室により異なります。）